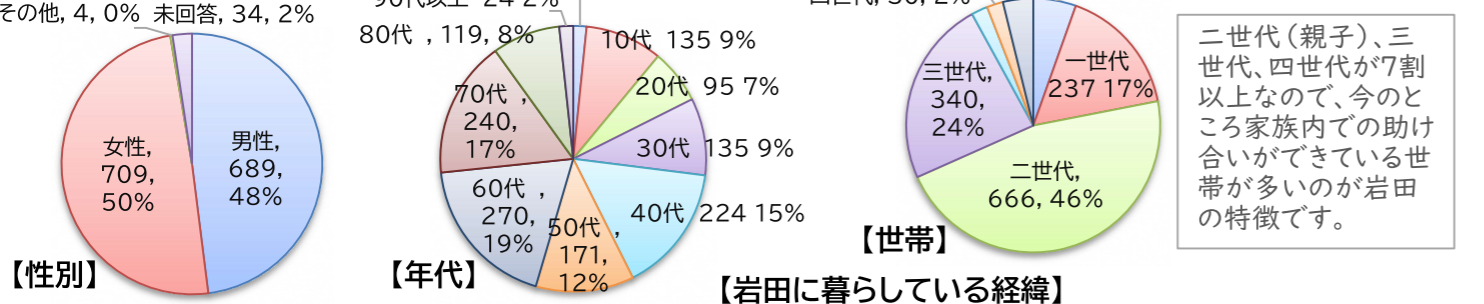


『岩田地区中学生以上全住民アンケート2023結果報告(抜粋)』

岩田地区地域づくり協議会が、岩田地区にお住まいの中学生以上の全住民を対象に、実施致したアンケートの結果の抜粋です。回収率が92%と非常に高いので、ほとんどの住民の方の意見が反映されたアンケートになりました。岩田地区をより住みやすい地域にするにはどうしたらいいのか考えていくための重要なデータになることと思います。

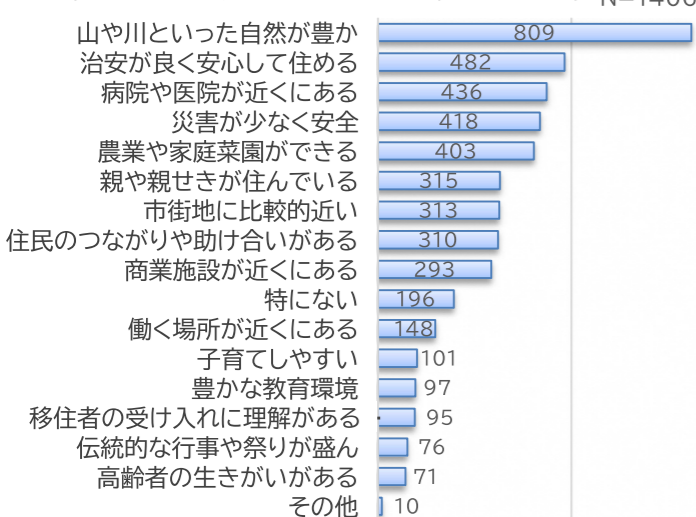
1.回答者について



回収率は92%で、関心の高さが伺えます。回答者の半分が女性、4割が40代以下なので、今までこのような地域に関するアンケートに回答する機会があまりなかった幅広い住民から回答を得ていることがわかります。

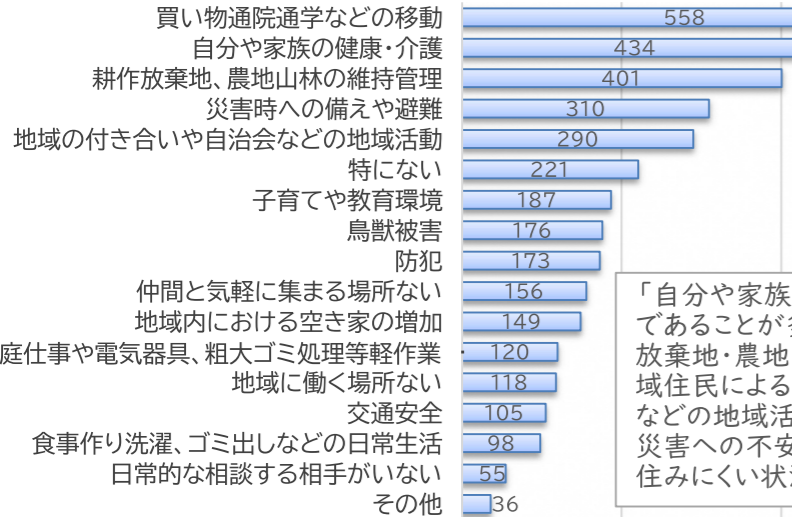
2.岩田地区の生活について

問1:岩田地区に住んで、あなたが良いと思う点、満足している点はどれですか？(すべてに○) N=1406

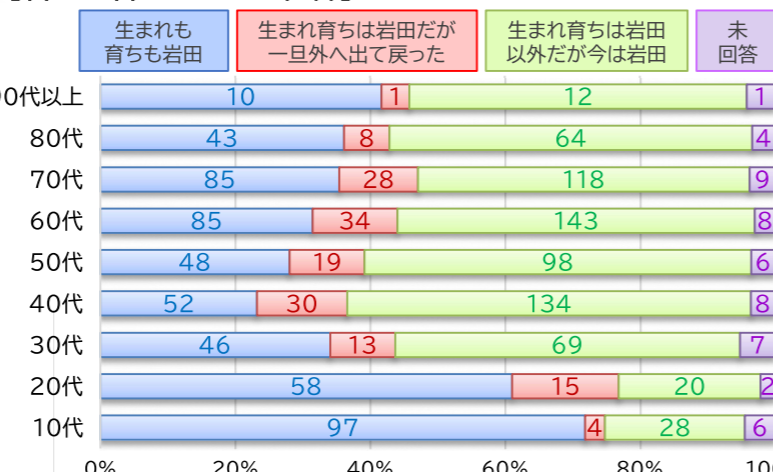


最も回答が多かったのは「山や川といった自然が豊か」でしたが、続く「治安が良い」「住民つながりや助け合いがある」は、地域コミュニティを起因とするので、重要な項目です。「病院や医院が近くにある」「災害が少なく安全」「市街地に比較的近い」という点が比較的多く、立地に満足している人が多いこともわかります。

問2:岩田地区で生活をするうえで、あなたが不安に感じていること、困っていることは何ですか？(すべてに○) N=1380

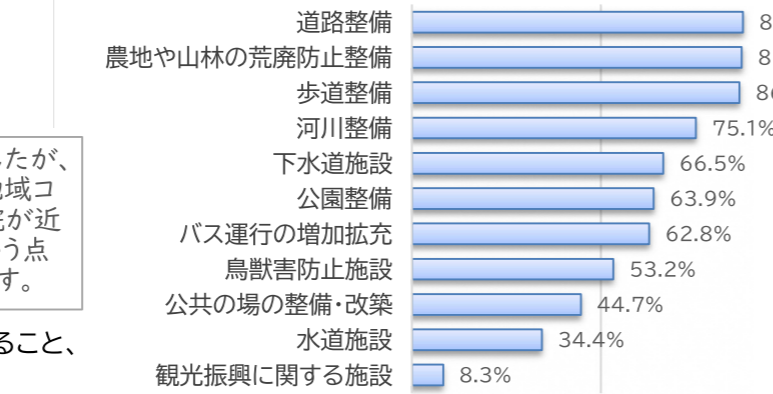


「自分や家族の健康・介護」は上位ですが、個人や家庭の問題であることが多いです。一方、「買い物通院などの移動」「耕作放棄地・農地山林の維持管理」「災害の備えや避難」などは、地域住民による共助で不安を小さくすることも可能です。「自治会などの地域活動」を不安に感じている人が、全体で290人いて、災害への不安に匹敵する結果でした。地域活動の負担によって住みにくい状況になることは、避けるべきだと思います。



「生まれも育ちも岩田」の住民は37%の少数派で、約半数は、他の地区から岩田に移り住んだ住民です。特に40代は6割が他地区から来た人です。

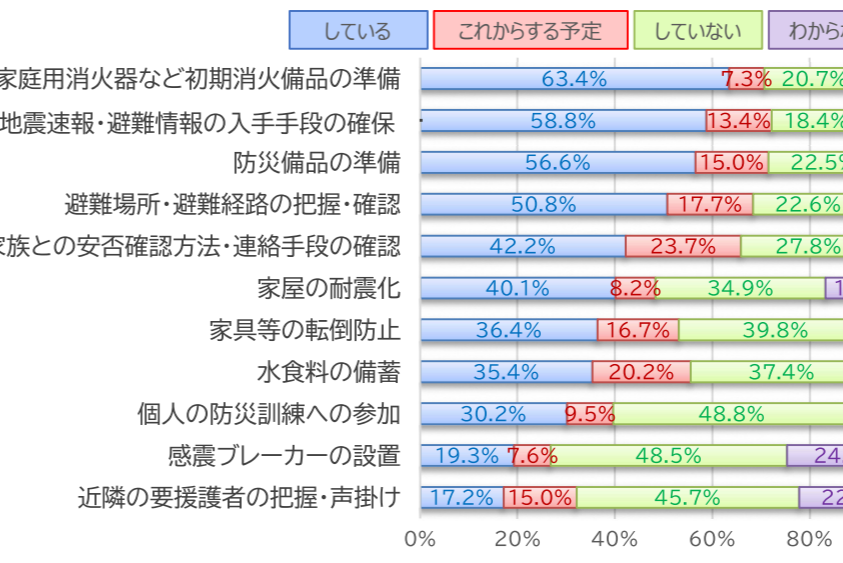
問13:[重要度]と[満足度]の差から求めた岩田地区のインフラ(地域生活の基盤になる施設)などの整備の不足度です。



割合が高いほど、不足度が高いことがわかるグラフです。「道路整備」「農地荒廃」「歩道整備」への対応が不足していると感じている住民が多いようです。地区別の分析データからは、寺谷新田の「道路整備」、寺谷塚下の「歩道整備」が大きな数字となっていました。

3.岩田地区の防災活動について

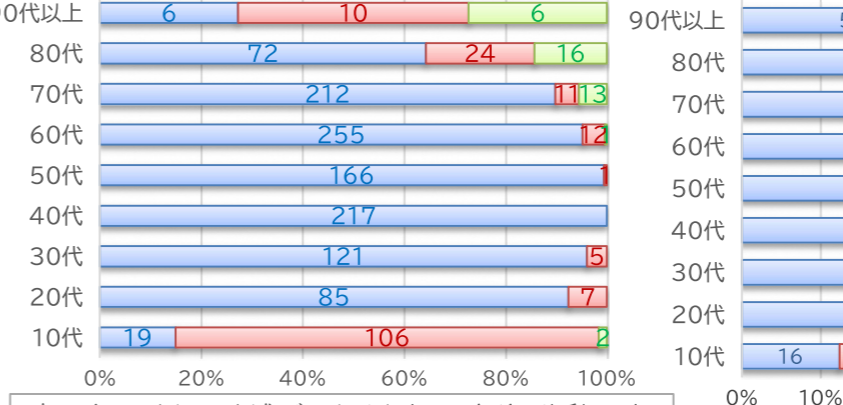
問9:あなたの家では、地震や洪水などの「大規模災害に備えた準備」をしていますか？(あてはまるものひとつに○)



「家具等の転倒防止」「水食料の備蓄」などは、「している人」よりも「していない人」の方が多く結果でした。防災は個人・家族などで対応する「自助」が基本となります。自助の準備をしていない人が多いほど、被災時に支援を必要とする人が多くなり、対応ができなくなる可能性があります。住民に対して「自助」として、しっかり準備をしてもらうことが重要です。

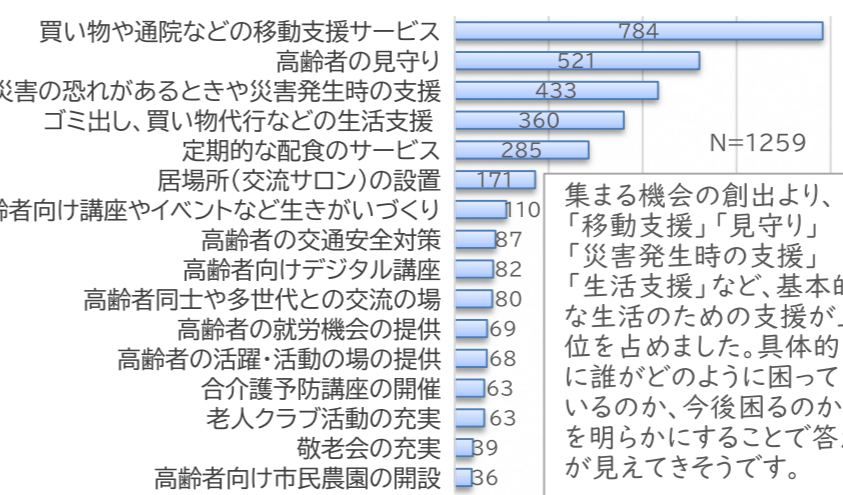
4.移動・高齢者支援について

問12:高齢者がよりくらしやすい地域にするために、力をいれた方が良いことは何ですか？(3つまで○)



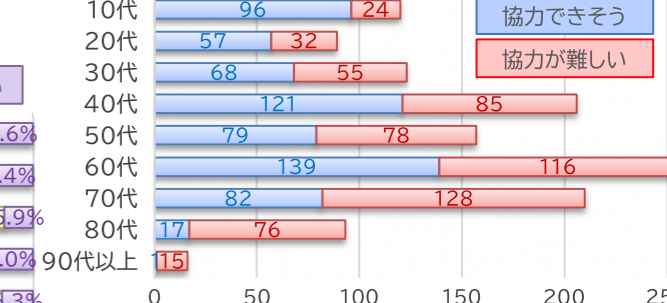
車が欠かせない地域ではありますが、今後、移動に助けが必要な人が増えますので、移動手段を持たない方への支援が重要な課題であることがわかります。

問14:岩田地区の中に、いざというときに助け合いや相談ができる人がいますか？(あてはまるものすべてに○)

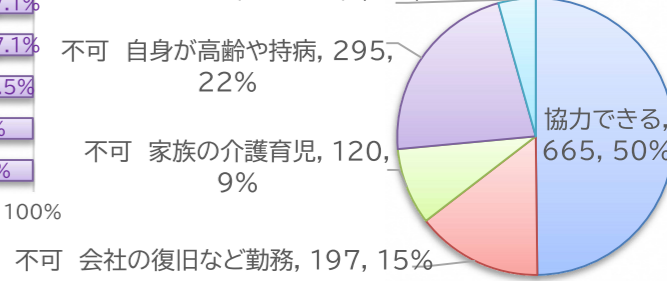


集まる機会の創出より、「移動支援」「見守り」「災害発生時の支援」「生活支援」など、基本的な生活のための支援が上位を占めました。具体的に誰がどのように困っているのか、今後困るのかを明らかにすることで答えが見えてきそうです。

問10-1:災害時、自身や周囲に被害がなかった場合、地域活動に協力できそうですか？

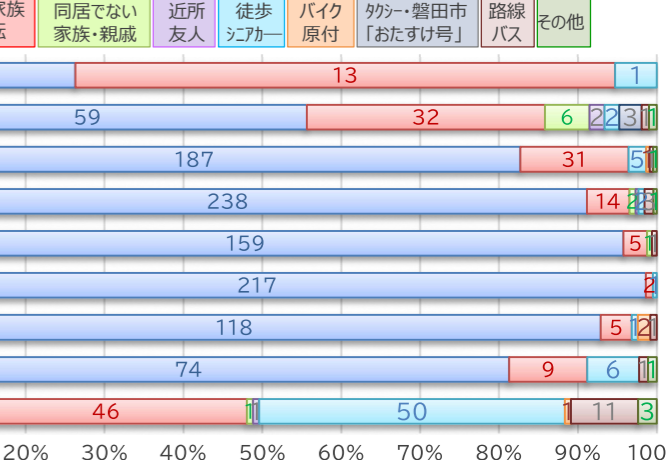


問10-2:「協力が難しい」と回答した人の理由



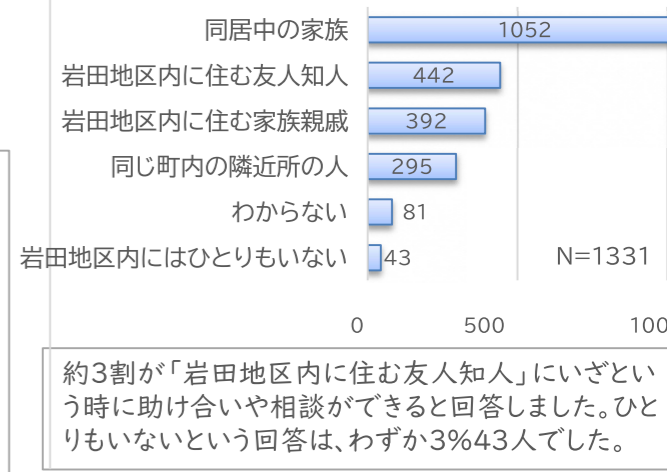
災害時に「協力できそう」と回答した方は50%でした。被災時は、会社の復旧作業や家族の世話などで、地域の活動に協力したくてもできない方がいます。一方、10代の8割以上が「協力できる」と回答しており、人数では20代や30代よりも多い結果です。10代は、有事の際、に活躍を期待できる貴重な人材と認識し、訓練を実施した方が良さそうです。有事の際は、年齢や性別を問わず、協力できる人が活躍できる体制を、事前整えておくことが有効です。

問15:日常的な移動手段は何ですか？



車が必須の生活なので、自分で運転する方がほとんどでした。次いで同居の家族が多く、現在は家庭で支え合っているようです。

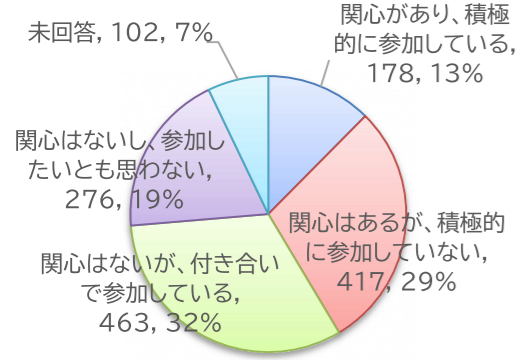
問14:岩田地区の中に、いざというときに助け合いや相談ができる人がいますか？(あてはまるものすべてに○)



約3割が「岩田地区内に住む友人知人」にいざというときに助け合いや相談ができると回答しました。ひとりもいないという回答は、わずか3%43人でした。

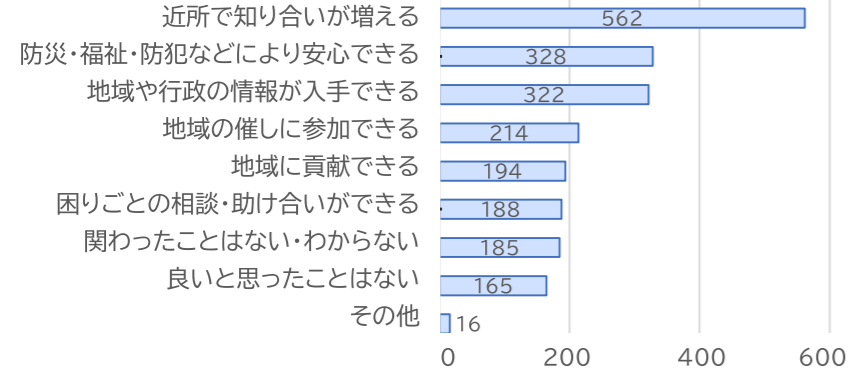
5.地域活動について

問5:地域活動への関心と参加状況を教えてください。



関心ある人は42%、参加している人は45%でした。参加している人のうちの2/3以上が「関心はないが付き合いで参加」でした。「関心があるが積極的に参加していない」は417人で29%でした。これを年代・性別に分類すると、40代以上では、女性が男性よりも多く「関心があるが積極的に参加していない」と回答していることがわかります。まずは、女性に参画してもらうことが岩田地区の地域づくりには有効と考えられます。

問6:地域活動に関わってよかったと思う点を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



参加は約半数ですが、その約2/3が「付き合いで参加」です。「関心があるが参加していない」は34%で、女性の方が多く結果でしたので、活動への理解を促しつつ、女性の参画を進めるのが有効かもしれません。

全体の「反映すべき」回答は、男性の方が多く傾向でした。内容は、男女ともに「健全育成」「防災」が多いのですが、続いて女性は「高齢者福祉」、男性は「自治会の運営」と分かれました。対象者の意見をもとに進めると進みやすい傾向があります。

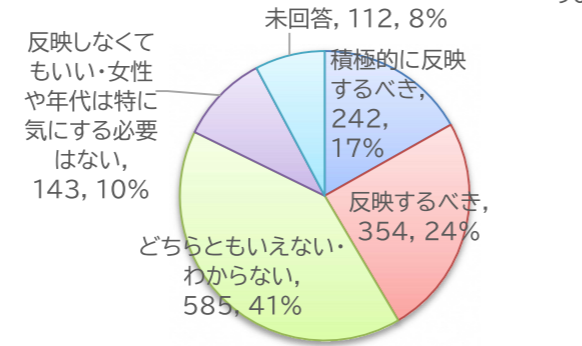
問3:岩田地区で行っている・今後行うべきと20の地域活動の[重要度]―[満足度]を年代別にしました。

	全年代 (%)	10~20代 (%)	30~50代 (%)	60~70代 (%)	80~90代 (%)
1 農地荒廃解消	62.5	移動支援活動 49.7	移動支援活動 57.7	農地荒廃解消 78.7	農地荒廃解消 70.3
2 移動支援活動	55.6	高齢者生活支援 37.8	農地荒廃解消 57.3	空き家の管理 64.7	移動支援活動 59.8
3 空き家の管理	49.4	農地荒廃解消 36.8	IT住民向け広報 53.9	移動支援活動 55.2	環境保全 47.9
4 防災活動	42.7	防災活動 35.8	空き家の管理 42.2	防災活動 46.8	防災活動 47.9
5 高齢者生活支援	39.2	空き家の管理 35.7	防災活動 41.1	環境保全 44.2	空き家の管理 47.2
6 環境保全	38.1	IT住民向け広報 33.5	高齢者生活支援 40.8	防犯活動 40.7	悩みの相談場所 45.1
7 IT住民向け広報	37.6	消防活動 31.1	消防活動 36.9	高齢者生活支援 37.2	高齢者生活支援 42.8
8 消防活動	35.5	中学の部活協力 29.5	防犯活動 35.4	消防活動 36.8	子育て相談・交流 39.9
9 防犯活動	35.5	子ども対象の行事 27.9	環境保全 35.0	子育て相談・交流 35.4	防犯活動 39.2
10 交通安全活動	30.1	環境保全 27.3	交通安全活動 29.6	交通安全活動 35.2	子ども対象の行事 35.1
11 子ども対象の行事	29.6	防犯活動 23.0	子どもの安全支援 28.7	子どもの安全支援 33.3	消防活動 32.0
12 子どもの安全支援	29.1	子どもの安全支援 21.9	子ども対象の行事 28.1	子ども対象の行事 30.9	交通安全活動 29.4
13 子育て相談・交流	28.1	悩みの相談場所 21.9	悩みの相談場所 24.8	悩みの相談場所 30.5	子どもの安全支援 28.4
14 悩みの相談場所	27.9	交通安全活動 21.1	子育て相談・交流 23.4	IT住民向け広報 29.4	中学の部活協力 26.7
15 中学の部活協力	23.2	子育て相談・交流 19.0	中学の部活協力 20.7	中学の部活協力 22.4	地区内の情報共有 21.1
16 地区内の情報共有	18.7	生涯学習活動 16.7	地区内の情報共有 18.5	地区内の情報共有 21.9	地域のイベント 12.2
17 生涯学習活動	6.2	地区内の情報共有 10.3	高齢者対象活動 1.7	生涯学習活動 7.0	生涯学習活動 11.0
18 高齢者対象活動	3.7	高齢者対象活動 9.8	生涯学習活動 0.1	高齢者対象活動 2.0	健康づくり活動 9.4
19 健康づくり活動	-4.9	地域のイベント -0.3	健康づくり活動 -9.7	地域のイベント -1.9	高齢者対象活動 8.4
20 地域のイベント	-5.0	健康づくり活動 -0.7	地域のイベント -13.4	健康づくり活動 -4.9	IT住民向け広報 0.8

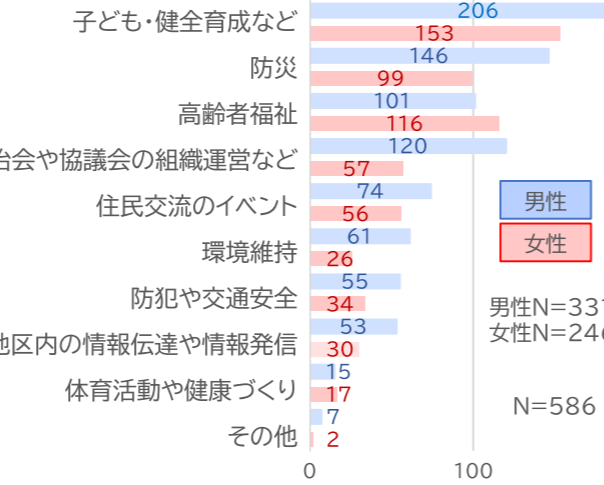
※「とても重要」と「やや重要」の回答率から、「あまり重要でない」と「重要でない」の回答率を引いたものを、重要度指数とし、同様に計算した満足度指数を引いた結果を数値で表記しました。

「移動支援」「農地荒廃」次いで「空き家」「防災」が不足している活動でした。一方、「地域イベント」「健康づくり」「高齢者対象活動」は十分に活動ができているという結果でした。岩田地区は、地域活動の過不足度の認識に世代間の差があまりないので、世代間ギャップは小さそうです。上位の活動を推進したり、行事やイベントの見直しなどを進めやすい環境下にあると言えます。

【多世代の参画】問4:地域活動に女性の声を、今よりも反映すべきだと思いますか？

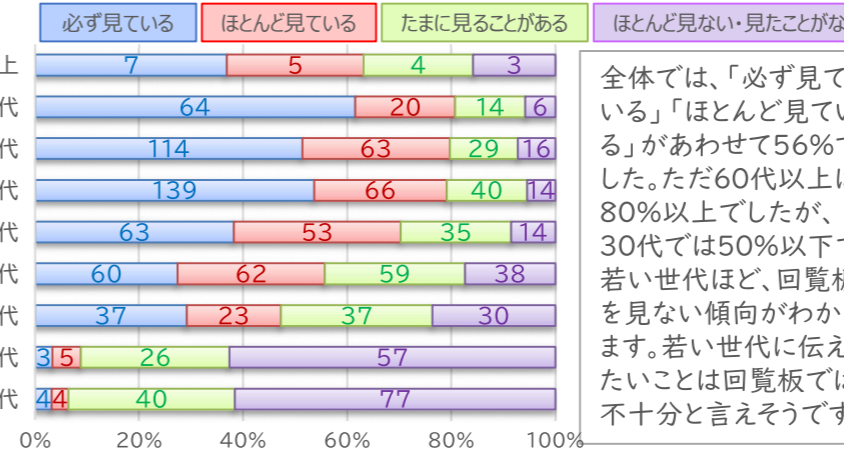


問4-1:「積極的に反映・反映するべき」を回答した方へ。どのようなことで反映すべきですか？

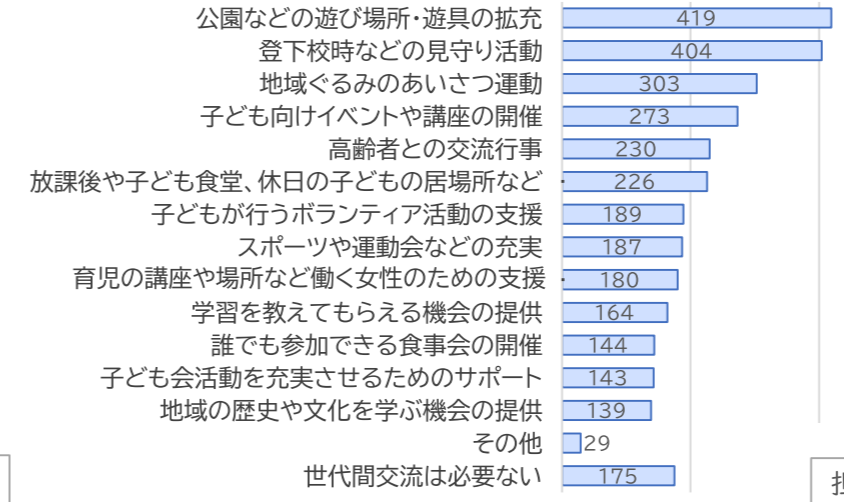


全体の「反映すべき」回答は、男性の方が多く傾向でした。内容は、男女ともに「健全育成」「防災」が多いのですが、続いて女性は「高齢者福祉」、男性は「自治会の運営」と分かれました。対象者の意見をもとに進めると進みやすい傾向があります。

【情報伝達について】問17:回覧板を見ていますか？(ひとつに○)

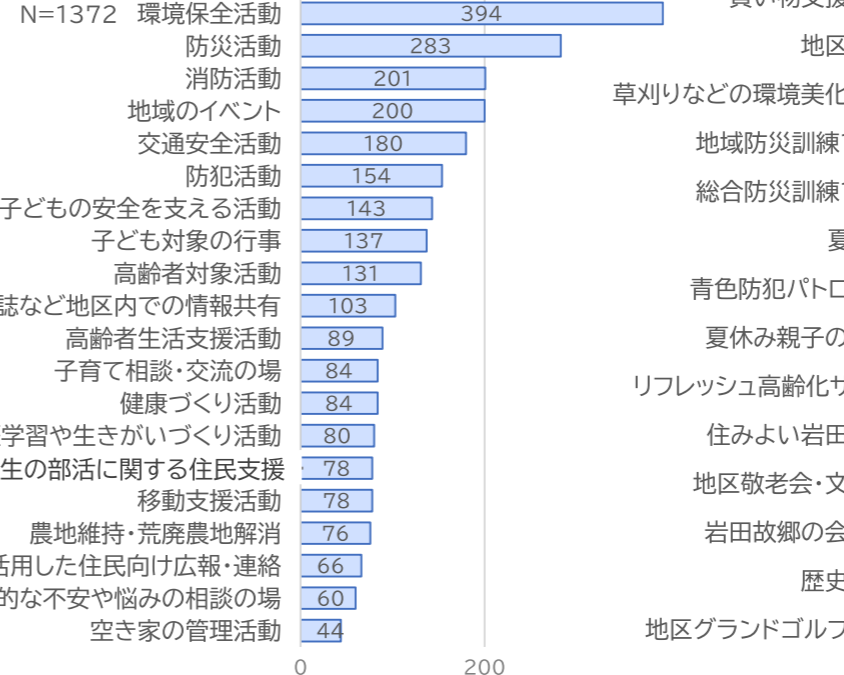


問11:世代間交流には何をしたらよいと思いますか？(あてはまるものすべてに○)



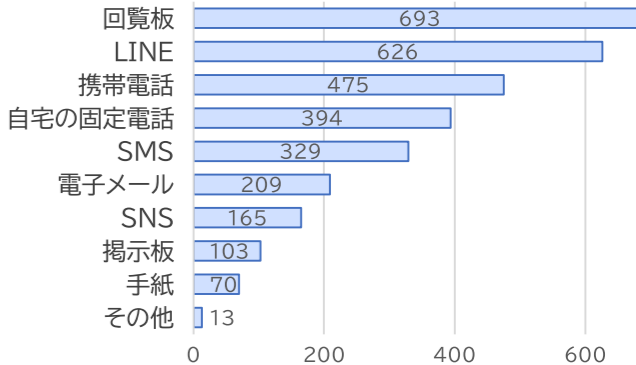
全体では「遊び・遊具の拡充」「登下校の見守り」「あいさつ運動」が多いのですが、年代別の40代以下では、あいさつ運動が極端に少なく、逆に「イベント・講座の開催」が多い結果で、大きな違いがみられました。

問3:以下に協力できる活動はありますか？(すべてに○)



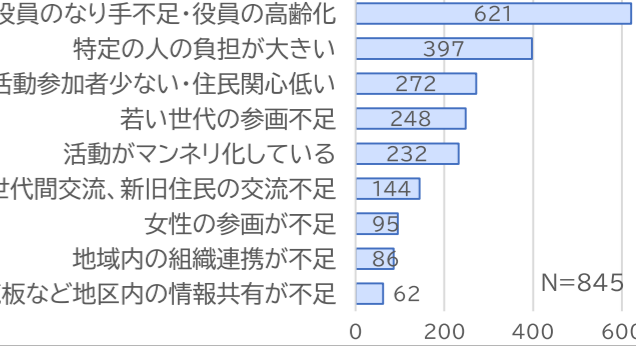
全体的に、多くの住民が、様々な活動に対して協力の意思があることがわかりました。環境保全活動はもちろんですが、不足感の高い「農地荒廃」や「移動支援」は、他の活動と比較して協力できる人が少ない傾向なので、問題が深刻になる前に、早い段階で、検討を進めた方がよいかもしれません。

問18:情報伝達手段は何かいいと思いますか？(すべてに○)



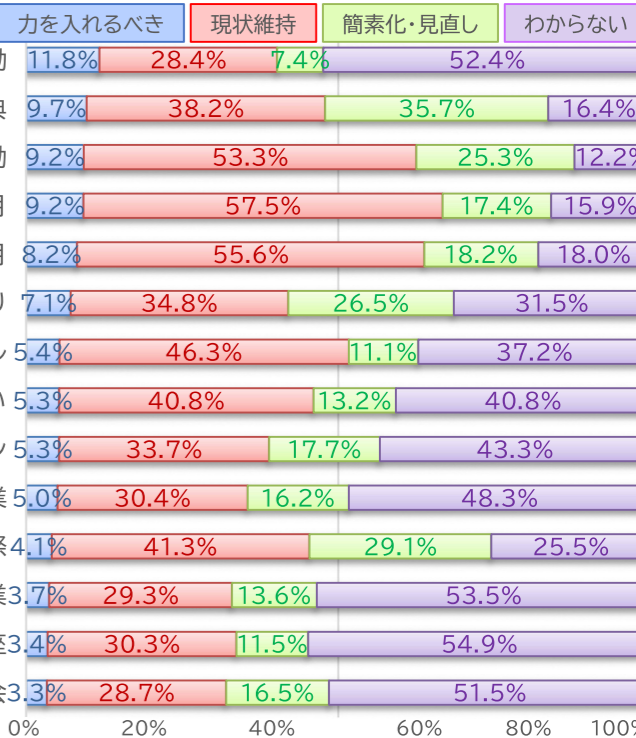
年代別にみると、50代以下では、回覧板よりもLINEが良いと回答した人が多くなっています。回覧板を見ない人でも、LINEならば見る可能性があるため、回覧板とLINEの併用が有効かもしれません。

問7:地域の活動に関して、改善すべきだと思うものすべてに○をし、あれば改善策を教えてください。



担い手の問題が上位を占めています。時代の変化に伴い、担い手の対象が変化している影響かと思われます。対応できるように組織について一度検討する必要があります。

問8:岩田地区で、現在実施されている以下の行事や活動について、どうすべきだと思いますか？(それぞれひとつに○)



「もっと力を入れるべき」が多いのは「買い物支援活動」「地区祭典」「環境美化活動」でしたが、ほぼすべての行事・活動で「力を入れるべき」より「簡素化・見直し」の回答の方が割合が高いため、一度見直しをする必要がありそうです。特に祭典については見直しを求める回答が多いので、早めの検討が必要そうです。